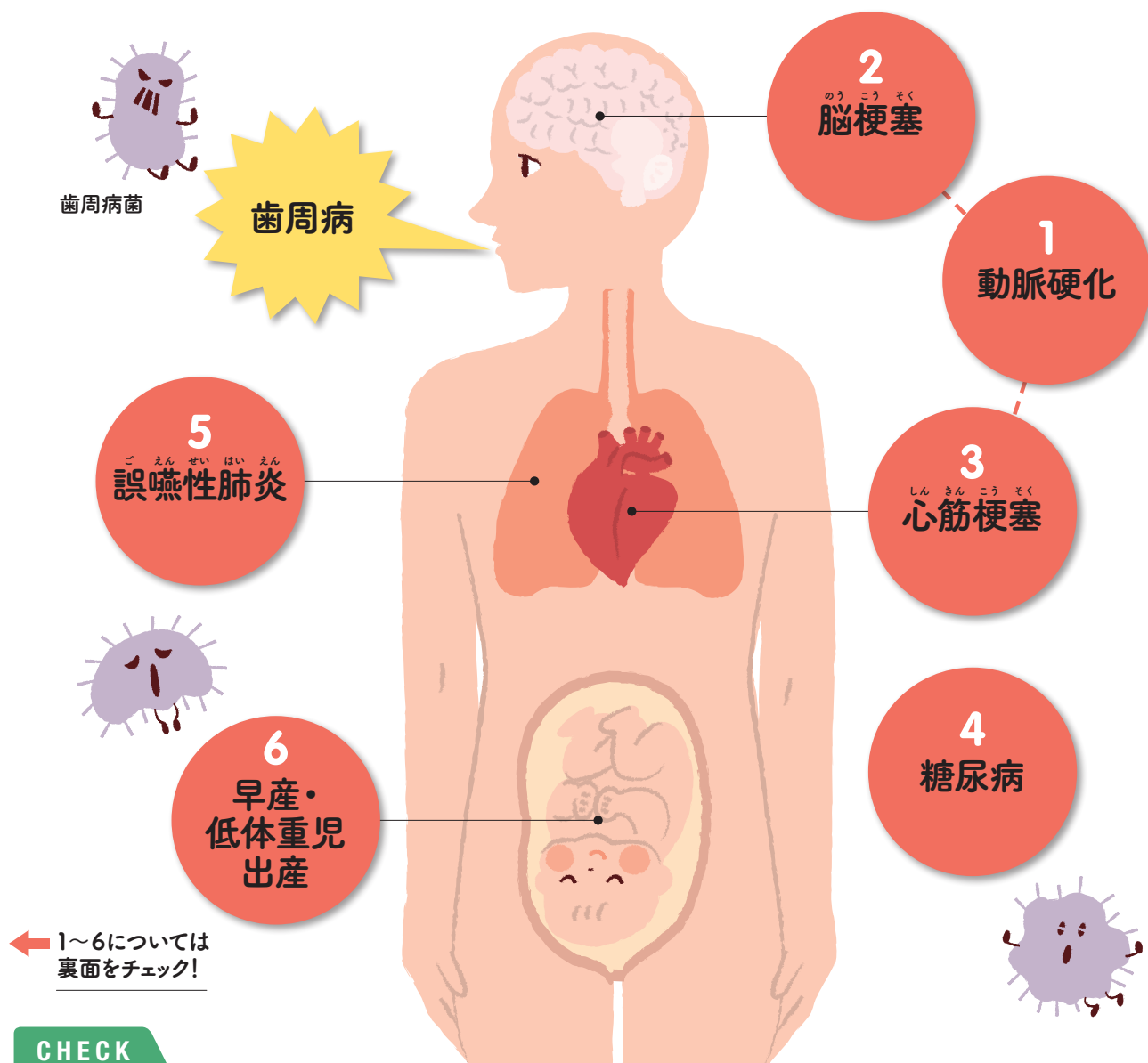
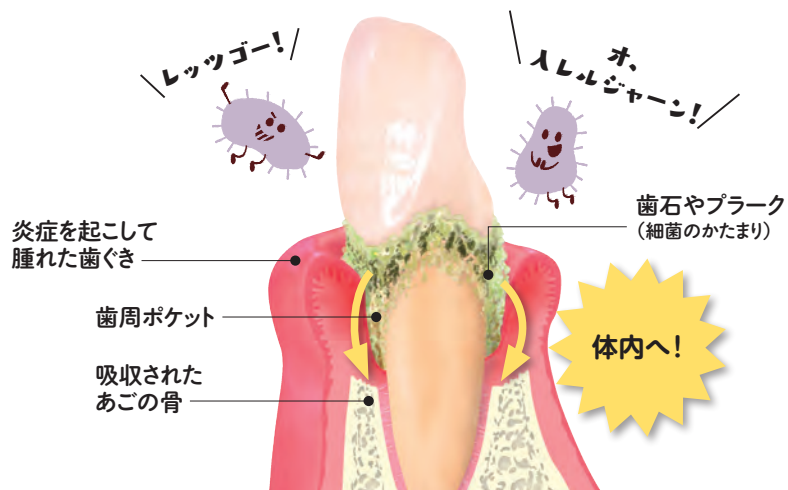


歯周病とからだの病気

歯周病は、お口だけでなく全身の健康にも影響を与えます。
長年の研究から、とくに関連が強いと考えられているものをご紹介します。



CHECK



お口の“傷口”から 歯周病菌が体内へ!

歯周病が進行すると、出血を起こした歯ぐきから歯周病菌が体内に侵入します。くわえて、歯周病により生じる「炎症性物質」がからだに入り込むことで、さまざまな病気を引き起こしたり、悪化させる要因となると考えられています。歯周病は、歯ぐきに傷口が開いているのと同じ状態です。できるだけ早く治療を受けましょう。

現在
想定されて
いる

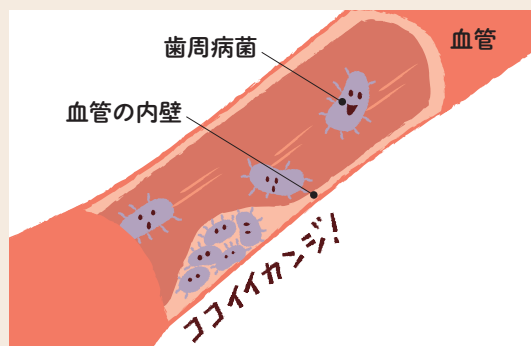
歯周病がからだに 影響するしくみ

← 1～6については
表面をチェック!

それぞれのからだの病気について、進行した歯周病が発症や悪化に
どのようにかかわっているかを、現在想定されているパターンをもとにご説明します。

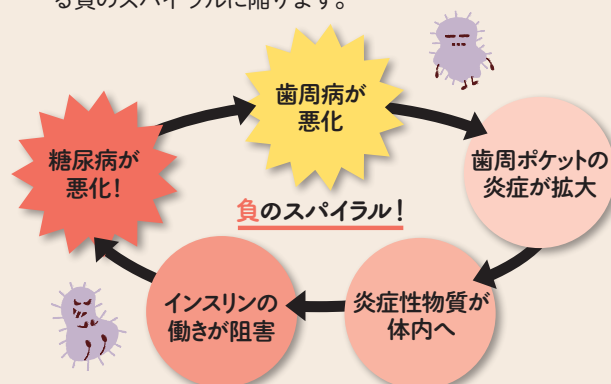
1 動脈硬化 → 2 脳梗塞・3 心筋梗塞

動脈硬化におけるコレステロールのように、血管の内
壁に歯周病菌が入り込み、死んだあとにかゆ状のかた
まりとなります。これが血管を狭くし、血流を障害し
ます。脳の血管で起これば脳梗塞、心臓の弁で起これ
ば心筋梗塞を引き起こしかねません。



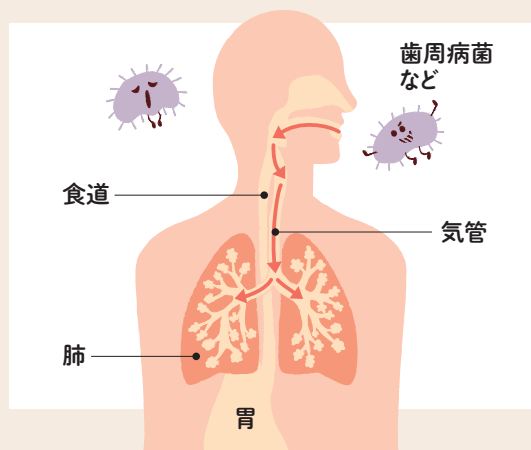
4 糖尿病

歯周病により生じた「炎症性物質」が歯周ポケットか
ら体内に入り込み、血糖を低下させるホルモンである
インスリンの働きを邪魔します。すると血糖値が高い
ままになり、糖尿病を悪化させます。糖尿病の悪化は
歯周病の悪化を招き、それがさらに糖尿病を悪化させ
る負のスパイラルに陥ります。



5 誤嚥性肺炎

誤嚥性肺炎は、本来は胃に入る食物や唾液が誤って気
管から肺に入ってしまうことが原因です。肺のなかで
食物や唾液に含まれていた細菌やウイルスが増殖し、
肺炎を起こします。歯周病になってお口のなかに細菌
が多い状態だと、肺に入り込む菌の量も多くなります。



6 早産・低体重児出産

歯周病による炎症性物質の増加は、母親のからだに作
用し、子宮の収縮を引き起こすおそれがあります。子
宮の筋肉が収縮する結果、赤ちゃんが押し出されて予
定より早く産まれてしまうのです。また、歯周病菌が
子宮内部に感染して早産を促す可能性もあります。

